

第 39 期
中 間 報 告 書

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで)

KENSOH

株式会社 研 創

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第39期（平成22年3月期）中間期の営業の概況と決算の状況につきまして、
ご報告いたします。

代表取締役社長 林 良一



事業の概況

◆経営成績

当第2四半期（6か月）における日本経済は、昨年来の世界的な金融市場の混乱による世界景気の後退に一部の企業部門で持ち直しの兆しが見られましたが、家計部門においては、失業率の上昇など雇用情勢が依然厳しい状況にあることへの警戒感から個人消費が低迷しており、企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続きました。

当社グループの主力市場であります事務所商業ビルなどの非住宅建築業界は、依然として経済環境を背景とした民間企業の設備投資マインドの冷え込みから、ビル建築の中止・延期等が多く見られ、ビル内外に付帯するサイン需要は低迷を続けており、極めて厳しい事業環境で推移しました。

このような状況の中、当社グループは競合する重点得意先に対する積極的営業活動に努めシェア拡大による売上高確保を図る一方、減収に対応した収益改善策として、外部委託生産の自社への取り込み、ワークシェアの最大活用、人件費を始めとするコスト削減を徹底して行いました。

その結果、売上高は15億15百万円（前年同期は18億37百万円、17.5%の減収）となりましたが、営業損失は87百万円（前年同期は1億85百万円の営業損失）、経常損失は1億14百万円（前年同期は1億98百万円の経常損失）に留まりました。

◆業績予想

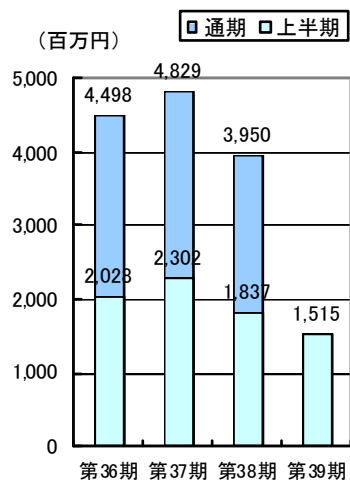
国内外での在庫調整の進展や景気刺激策の実施で景気後退に歯止めがかかってまいりましたが、設備投資マインドの冷え込みからサイン業界は依然として厳しい受注環境が続いております。

このような状況下で当社グループは、減収でも利益を確保すべく経営合理化施策の中で早期希望退職を始めとする人件費の削減や固定経費の削減などコスト削減に鋭意取り組んでまいりましたが、売上高減少は予想以上に激しく、営業利益・経常利益もそれに伴う結果となりました。

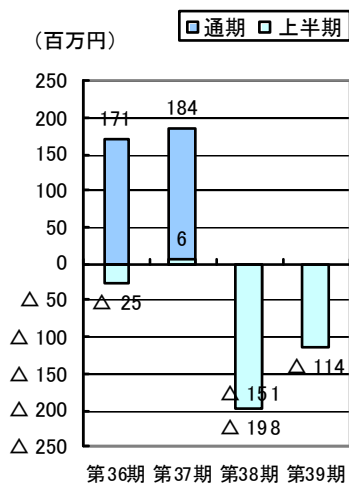
さらに過年度法人税等の計上も生じたことにより、通期の業績につきましては、売上高33億54百万円、営業利益60百万円、経常利益10百万円、当期純損失50百万円と予想しております。

財務ハイライト（連結）

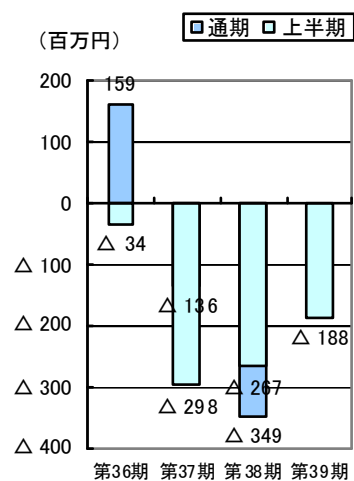
売上高



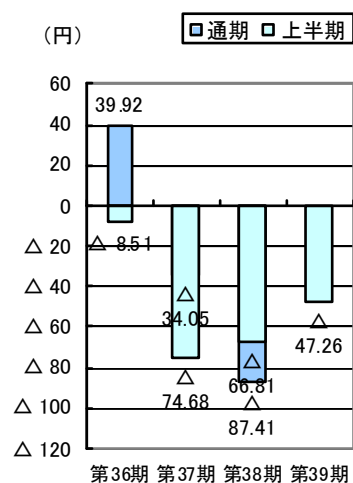
経常利益



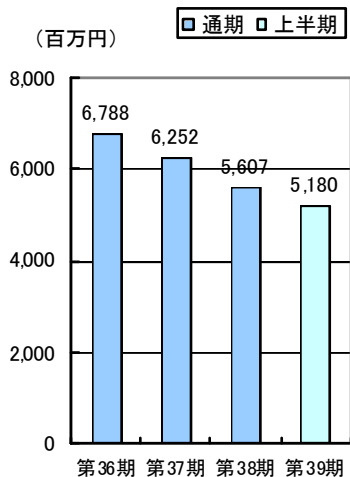
当期純利益



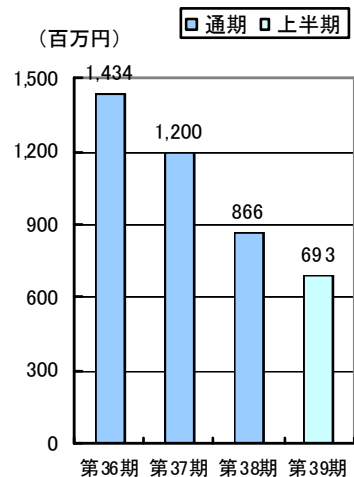
1株当たり当期純利益



総資産



純資産



連結財務諸表

◆連結貸借対照表（要旨）

（平成21年9月30日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	1,351,416	流動負債	2,356,550
現金及び預金	224,308	支払手形及び買掛金	507,789
受取手形及び売掛金	867,642	短期借入金	1,680,792
有価証券	62,800	未払法人税等	9,198
商品及び製品	46,595	賞与引当金	17,428
仕掛品	21,680	工事損失引当金	231
原材料及び貯蔵品	90,384	その他	141,111
その他	46,614	固定負債	2,130,304
貸倒引当金	△8,610	長期借入金	1,692,237
固定資産	3,829,275	退職給付引当金	91,166
有形固定資産	2,866,400	役員退職慰労引当金	323,550
建物（純額）	916,187	その他	23,351
土地	1,422,080	負債合計	4,486,854
その他（純額）	528,133	【純資産の部】	
無形固定資産	21,934	株主資本	683,629
投資その他の資産	940,939	資本金	944,637
投資有価証券	243,646	資本剰余金	264,930
投資不動産（純額）	482,524	利益剰余金	△517,782
その他	255,146	自己株式	△8,156
貸倒引当金	△40,378	評価・換算差額等	10,206
資産合計	5,180,691	その他有価証券評価差額金	10,206
		純資産合計	693,836
		負債・純資産合計	5,180,691

◆連結損益計算書（要旨）

（平成21年4月1日から平成21年9月30日）

（単位：千円）

科 目	金 額
売上高	1,515,507
売上原価	1,093,225
売上総利益	422,281
販売費及び一般管理費	509,591
営業損失	87,309
営業外収益	20,146
営業外費用	47,430
経常損失	114,593
特別利益	20,271
特別損失	40,278
税金等調整前四半期純損失	134,600
法人税、住民税及び事業税	4,491
法人税等調整額	23,845
過年度法人税等	26,040
四半期純損失	188,976

◆連結キャッシュフロー計算書（要旨）

（平成21年4月1日から平成21年9月30日）

（単位：千円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,824
現金及び現金同等物の増減額	16,194
現金及び現金同等物の期首残高	114,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,308

(平成21年9月30日現在)

会社概要

社 名 株式会社 研 創
(英文) KENSOH CO., LTD.
設立年月日 昭和46年9月1日
本店所在地 広島市安佐北区上深川町4 4 8番地
資 本 金 944,637,754円
従 業 員 数 210名(単独)、214名(連結)
主な事業内容 金属(ステンレススチール、アルミ等)
を主な素材とした建築物の内外に用
いるサイン製品の製造・販売

役員

代表取締役社長 林 良 一
取締役会長 倉 田 桂二郎
常務取締役 葛 神 健二郎
取締役 林 誠 二
常勤監査役 岡 田 一 男
常勤監査役 大 木 正
監査役 田 中 博 隆
監査役 山 下 泉

(注) 監査役 田中博隆氏および山下 泉氏は、社
外監査役であります。

株式の状況

- ①発行可能株式総数 8,000,000株
②発行済株式の総数 4,022,774株
③大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出 資 比 率
株式会社研創エンタープライズ	1,480 千株	36.8 %
研 創 親 和 会	254	6.3
研 創 社 員 持 株 会	181	4.5
林 温 子	175	4.4
株 式 会 社 も み じ 銀 行	132	3.3
株 式 会 社 ゲ イ ビ	130	3.2
肥 田 亘	100	2.5
林 航 司	97	2.4
冨 島 宗 幸	84	2.1
林 誠 二	70	1.7

株 主 メ モ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末 毎年3月31日 中間 毎年9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UF J信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UF J信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	ジャスダック証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.kensoh.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UF J信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UF J信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UF J信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UF J信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UF J信託銀行本支店でお支払いいたします。

KENSOH

株式会社 **研 倉**

〒739-1792 広島市安佐北区上深川町448番地

TEL (082) 840-1000